

謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。

当施設は本年の3月に開設10周年を迎えることになりました。これも一重に平素からの皆様のご理解とご支援の賜物と感謝いたしております。厚く御礼を申し上げます。

昨年は、特別養護老人ホームにおいて、利用者の生活環境を整えると共に、「主体性のある生活介護」を目指して、一つのフロアを個室ユニット化しました。また、本年は、グループホームの増床に向け、準備を進めているところでございます。

さらに、皆様との相互学習を通じて、成長していきたいと考え、新たに「祥雲館Cafe」を設け、活動してまいります。とはいえども、未だ至らぬことも多く、課題ばかりが山積していく感も否めない状況でもあります。私たちは、地域に貢献できる社会福祉法人として、日々の努力と研鑽を重ねてまいります。

皆様方からの積極的なご意見・ご指導と共に、あらためて、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人 桃林会 祥雲館 施設長 小林 修

笑 雲

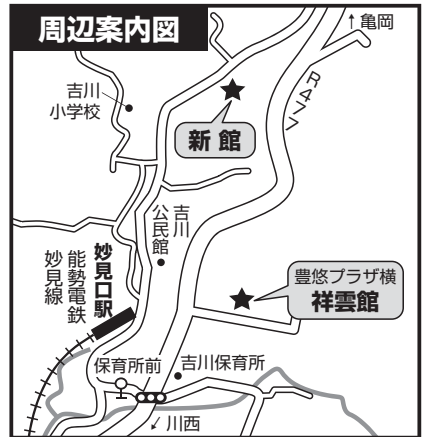
しょう

うん

第45号
発行
平成22年1月10日

祥雲館
社会福祉法人 桃林会
〒563-0101
大阪府豊能郡豊能町吉川187-1
TEL:072-733-2301
FAX:072-733-2303

周辺案内図



主体性を引き出す 介護について

ヘルパーステーション

ホームヘルプとは、ご利用者さんが日常生活を営むため、家庭(在宅)を訪ね、必要な身体の介護や家事サービスを提供することです。シルバライフにゆとりを持ち、自分の家で安心して、生きがいのある暮らしを支えていくことを、私たちは大切に考えています。

では、利用者の生きがいとは、どこから生まれてくるのでしょうか？ 色々な訪問の経験から、その答えは、『主体性を引き出すこと』にあるように感じます。

では、ヘルパーが、ご利用者の主体性を引き出す場面とは、どのようなものでしょうか？

○自宅での入浴介助を行

う際に、日々のお体の変化に合わせて介護を行っております。『今日は頑張るわ!』とご利用者の意思で、普段と違い、ほとんど介助なしで入浴できた時は、家族さんと一緒に大喜びしています。

○最初はメモを渡され、ヘルパーだけが買い物に行っていました。ご利用者と一緒にお誘いし、今は店と一緒にメニューを考えることが増えました。自分で足を運ぶことで、ご飯がともおいしくなったのとことです。

○掃除の場面では、ヘルパーと利用者が分担作業となることを意識しています。不思議なもので、一緒に手分けして掃除すると、お互い楽しくなります。



私たちがお手伝いすることは、日常普通に生活する上で特別ではない「当たり前」と言われることです。しかし、この日常の繰り返しに私たちが溶け込めることができ、主体性の発揮の場面に立ち会えることが、この仕事の喜びとなります。また、素晴らしい事に人生経験豊富なご利用者から、アドバイスをもらえる機会が多々あります。ここに、私たちのやる気と元気の源があります。

日常生活での大変なこととは何でもお話いただき、お手伝いさせてもらい、人と人の心の絆を深めていきたいと私たちは思っています。ヘルパー一同これからもご利用者の自立を支え、共に在宅で楽しく生活できるように、生活に新しい風を入れていこうと考えています。主体性を引き出すことを基本として、高齢化に向う豊能町を支える一事業所として、地域に根ざした在宅での介護をサポートしていきたいと思っております。

ヘルパーステーション

主任 凧 操

祥雲館アーカイブ

祥雲館で最近起きたことを紹介します。
当館ホームページのInformation欄からの抜粋です。

- ◆2009.12.21(土)～12.23(水)
○特養ホーム2Fユニットにて、冬至イベント「ゆず風呂」に入っていました。
- ◆2009.12.21(土)～
○デイサービスセンターみずほで、「クリスマス会」を行いました。
- ◆2009.12.15(火)
○職員研修「介護事故勉強会」を開始しました。
- ◆2009.12.9(水)
○光風台幼稚園の園児たちが新館に来館しました。
- ◆2009.11～
○特養ホーム2Fユニット外出レクで、「紅葉ドライブ」に行きました。
○季節性インフルエンザ予防注射を利用者、職員に接種開始しました。
- ◆2009.11.26(木)
○吉川幼稚園の園児が新館へ来館しました。
- ◆2009.11.11(水)
○訪問衣料販売が本館に来ました。利用者の方々の好きな衣料を購入し、ネーム刺繍をしていただきました。
- ◆2009.11.8(日)
○特養ホーム2Fユニットにて「駄菓子バイキング」をしました。
- ◆2009.11.2(月)
○本館・新館にて、消防非難訓練を行いました。
- ◆2009.10.18(日)
○ショートステイホームにて「運動会」を行いました。
- ◆2009.10.17(土)
○特養ホームうぐいすユニットチームにて、家人さんを招待し茶話会を行いました。
- ◆2009.10.12(月)～10.17(土)
○デイサービスみずほにて、今月イベント「運動会」を行いました。
- ◆2009.10.7(水)～
○職員勉強会『感染症対応』を行います。
(10/7・10/14・10/21・10/28 4日間)
- ◆2009.10.1(木)～
○特養ホーム2階(2ユニット)にて、ユニットケア開始しました。

祥雲館のホームページは
<http://www2.gol.com/users/syownkan/>

次回の発行は平成22年4月11日(日)です

祥雲館 Cafe 高齢者福祉を一緒に考えませんか？

祥雲館では、地域の方々が住み慣れた町で暮らすことや、支えることを真剣に考えています。しかし、ハンデキャップを抱える高齢者が、地域で暮らしていくことは、非常に難しいことです。地域で暮らすための町づくりには、高齢者の自己決定や住民参加や地域の支え手の確保が必要です。気軽に地域の方々が、祥雲館のスタッフと喫茶しながら意見交換する場(Cafe)を設けました。地域の高齢者が、幸せに暮らせる町づくりに向けて一緒に考えてみませんか？

今回は特別養護老人ホーム祥雲館の西村禎男主任が「主体性を引き出す介護」というテーマでお話いたします。施設で実際に活用されている介護方法で、身近にあるものを活用しての椅子からの立ち上がりや車いすに移る際の方法など、ご家庭でもすぐに実践していただける方法です。

当日は参加者全員で、実際に試していただきたいと思います。動きやすい服装で是非ご参加下さい。

お申し込みは、祥雲館 TEL:072-733-2301 までお電話下さい。

【日時】平成22年1月23日(土) 10時～12時

【場所】祥雲館新館 デイルーム

【会費】200円(懇話会喫茶代)

【内容】主体性を引き出す介護方法(その1)

【講師】西村禎雄さん(特別養護老人ホーム 祥雲館 主任 兼 ケアマネージャー)



作品展開催

新館がオープンして1年以上経ち、2度目の紅葉が綺麗に感じれる頃、日々、利用者の方々の趣味などで作り上げられる作品も多くなりました。それをこの場だけで終わ

るにはもったいないと思い、2009年11月9日から新館デイルームで作品展を開催しました。どれも素敵なお品で、皆さんから感心していただき、感動を受けました。

最初は1週間展示予定でしたが、皆さんからの反響もあり、2週間展示することになりました。これからも多くの作品を作って、また展示会を開催したいと思います。

祥雲館新館 ホーム長 上野智子

